

臨海副都心センター別館 バイオ・IT融合研究棟 オープン

CBRCが入居する「産総研 臨海副都心センター別館 バイオ・IT融合研究棟」が、3月30日に開所式を無事終え、正式にオープンしました。

ライフサイエンス分野で産総研に蓄積されてきたバイオインフォマティクス、統合データベース技術、微量質量分析技術、タンパク質構造解析技術、ヒト完全長cDNAを用いた遺伝子発現解析技術など、世界的な強みを持った技術を「バイオ・IT融合」の観点から選択的に集結させて、企業との共同研究や国からの受託研究を行う目的で設立されました。また同時にライフサイエンス分野の産業技術開発およびビジネス化を計画している企業コンソーシアム、ベンチャー企業、大学などによる利用も広く募集しています。産総研から企業等への技術移転、人材の育成、AISTが認定するベンチャー企業の本拠としての利用などが可能となり、臨海地区での産学官連携研究のさらなる加速を目指しています。



11	大会議室、産学官連携室など
10	CBRC [CBRC受付階]
9	CBRC AIST認定ベンチャー (株)ファームラボ (株)ベストシステムズ
8	CBRC 計算機室 コラボコーナー 早稲田大学
7	東京大学
6	
5	
4	
3	
2	[本館連絡階]
1	CBRC ほか 展示施設



東京大学



産総研と東京大学とは、両機関の連携・協力を促進し、相互の研究開発能力および人材等を活かして総合力を発揮することを目的に、2004年12月に協力協定を結びました。この協力協定に基づき、産総研臨海副都心センターに東大のバイオインフォマティクスの研究チームが拠点を設置し、また逆に産総研のバイオインフォマティクスの研究チームが東大キャンパスに拠点を設けることで両機関の研究者の随時交流を実現していきます。今後、人材養成の共同プロジェクトの他、配列情報解析、比較ゲノム、代謝・シグナル伝達パスウェイなど、バイオインフォマティクス技術の実用化につながる革新的な研究を行う計画です。

早稲田大学 ITバイオ研究所

早稲田大学 IT バイオ研究所は、早稲田大学 IT研究機構所属のプロジェクト研究所です。早大でこれまで実施してきたIT研究と、我々のバイオインフォマティクス研究を連携させ、1)タンパク質の構造的保存領域やディスオーダー領域予測、2)基準振動解析によるタンパク質ドメイン同定、3)医学生物学知識の記号処理・自然言語処理、4)ハイパフォーマンス・バイオインフォマティクス、5)生物学にインスパイアされたロボット学について等、研究を進めて行く予定です。

